

アンディー・ウォーホル

20 世紀を代表するアメリカの美術家、ポップアートの代表的なアーティスト。絵画、版画のみならず、イラストやデザイン、音楽、映画製作などでも幅広く活躍した。両親ともにチェコスロバキア(現・スロバキア)からの移民でピッツバーグに生まれる。大学卒業後、イラストレーター、グラフィックデザイナーとして新聞広告美術部門で賞を受賞して成功するも、1960 年から絵画制作に転じた。翌年、身近にあったキャンベルスープ缶やドル紙幣などをモチーフにして作品を発表した。さらにその後、亡くなったマリリン・モンローやコカ・コーラの瓶などをモチーフにし、転写の方法を使って、シルクスクリーン版画に印刷物や写真を取り入れて制作した。以降、自身のアトリエを「ファクトリー(工場)」と名づけ、作品を大量に生産して世に送り出した。